Ｒ８ 家庭学習のすすめ

宇都宮市立陽北中学校

本校では、本年度の「陽北地域学校園教育ビジョン」の学習指導に関する重点目標を次のように掲げています。

> 対話的で深い学びによる思考・判断・表現力の向上及び
> 学習の基盤となる態度や学習習慣の育成

とりわけ後半部分の目標を達成させるためには、「**家庭学習の充実**」が必要と考え、積極的に推進してまいります。生徒の皆さんは、その目的をしっかりと自覚して取り組み、望ましい学習習慣を身に付けてください。

１．家庭学習の目的

学習内容をしっかり身に付けるためには、「予習→授業→復習」の学習サイクルが欠かせません。

家庭学習は、

・授業に向けて準備する場

・授業後に理解を確かめる場

の両方の役割をもっています。

また、自分で学習内容を選び、コツコツ積み重ねることで、「できた」「分かった」という手応えが生まれ、自信につながります。

家庭学習は、続けるほど効果が表れます。

２．家庭学習時間の目安（１日）

宇都宮市の標準的な目安です。

１年生・・・１時間30分以上
２年生・・・２時間以上
３年生・・・２時間30分以上

「毎日続けること」が最も大切です。

３．家庭学習に取組む姿勢

(1) 自分から進んで家庭学習に取り組む。

(2) 時間を決め、毎日続ける。

(3) 分からないところは、教科書・資料集などを使って調べる。

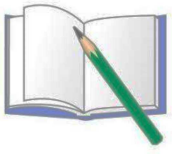
(4) 「自分の力を伸ばすための学習」であることを意識する。

４．家庭学習の具体的な方法

(1) 毎日、最低１ページはノートをむだなく使い切る。

(2) 学習した「日付」と「テーマ」を必ず書く。

(3) 月曜日は、金・土・日の３日分を提出する。



(4) 登校したら、朝の読書の前に指定のカゴへ提出する。
(5) 学芸委員が中心となり、全員提出を目指して声掛けを行う。
(6) 返却後は、チェックされた内容を確認し、次の学習に生かす。
(7) 友達の良い学習方法やノートの使い方は、積極的に真似してみる。

〔 ※各学年・学級で「ベストノート」を月ごとに選び、掲示します。
　また、クラスノートを参考にしてください。 〕

(8) ５教科をバランスよく学習する。

５．家庭学習のポイント

(1) 生活リズムを整える。(早寝・早起き、テレビ・動画・ゲーム時間の調整)
(2) 実行できる学習計画を立てる。(内容と時間を具体的に決める)
(3) 集中できる環境をつくる。(机の上を整える・スマホを離すなど)
(4) 努力を認め、次への意欲につなげる。(やり遂げた実感・できるようになった点を大切にする)

６．５教科の学習内容例

	具　体　的　な　内　容
予習	**○教科書を読み内容をつかむ。** 次時に何を学ぶのかを事前に知り、授業での理解を深める準備をする。 **○ワークを解き理解度を確認する。** できる問題は自力で解き、分からない問題は教科書や資料で調べてみる。 **○新出語句の意味を調べる。** 教科書・資料集・辞書を使い、重要語句の意味を把握しておくことで　授業がスムーズになる。 **○疑問点を整理し質問を準備する。** 分からなかった部分を明確にし、授業で質問できるようにしておく。 ・予習は「できるようにする」ためではなく、授業で理解しやすくするための準備 ・分からないところがあって当然で、むしろ “分からないを見つける” のが予習の成功 ・予習をしておくと、授業中の「なるほど」が増え、学習が楽しくなる
復習	**① 教科書を読み返す** 授業で学んだ内容をもう一度確認する。 **② ノートを書き足す** 自分の意見や気づきを追加して、理解を深める。 **③ ワークを解く・解き直す** その日のうちに解き、日をあらためてもう一度挑戦する。 **④ 資料集で理解を広げる** 関連する資料を読み、興味や関心をさらに高める。
国	**① 漢字・語句の学習** 漢字ワークを使って、予習・復習の両方に取り組む。語句の意味もあわせて確認する。

語	**② 読み取り・文法の練習** 国語ワークを使い、読み取り問題や文法・語句の問題で予習・復習をくり返す。 **③ 新しい教材文の予習** 教科書の本文を読み、分からない語句は パソコン・辞書で意味調べをする。 **④ テスト後の見直し** 間違えた問題を確認し、原因を分析して解き直す。 **⑤ 読書の習慣化** 毎日の読書で語彙を広げ、言語感覚を豊かにする生活を意識する。
社 会	**① 語句の理解** 必要な語句は 意味を理解し、自分のことばで書けるようにする。 説明できることが社会科の力につながる。 **② 分野ごとの学習方法** ・歴史：自分で 年表を作る ・地理：自分で 地図を描き、必要事項を書きこむ ・公民：ニュースで出てきた語句を 調べて理解する **③ 調べる・まとめ直す** 授業で気になったことを調べたり、ノートを まとめ直して理解を深める。 **④ 新聞・ニュースへの関心** 気になる記事やニュースを調べ、自分の考えをもつことを大切にする。 **⑤ ワークの反復** ワークの問題をくり返し解き、基礎・基本をしっかり身につける。
数 学	**① 予習** ・教科書の例題と解説を読み、解説を見ながら例題を解く。 ・読んでも分からない部分は 線を引いておく。 ・次の日の授業で、その部分を特に注意して聞く。 **② 復習** ・授業で学んだ内容を、その日のうちに問題集で解き直す。 ・できなかった問題は、繰り返し練習して考え方を身につける。 **③ 計算練習** ・途中式を必ず書く。 ・見やすく効率的な途中式を書くことも、大事な練習の一つ。 **④ 間違い直し** ・授業、問題集、テストで間違えた問題は、根気強くくり返す。 ・「なぜ間違えたか」を確認し、同じミスを防ぐ。 **⑤ AIドリルの活用** ・AIドリルで自分の苦手分野を把握し、克服に役立てる。 ・得意、不得意に合わせて問題が出るので、効率よく力がつく。
理	**① 教科書をまとめ直す** 教科書の内容を自分の言葉で整理したり、ワークで練習問題を解いてくり返し触れる。 **② 語句は意味とセットで理解**

科	語句は、意味を 自分の言葉や図で説明 してみる。図解すると理解が深まる。 **③ 記述問題の見直し** 必要な語句・文末表現などを比較して修正する。細部の違いに気づくことが大切。 **④ 計算・思考問題の過程を理解** 解き方の過程を記録し、誤りを見つける。問題集の解説を写して整理するのも効果的。 **⑤ まず自分で解く習慣** まずは 自分の力で解く。丸付けで考え方を修正し、理解を深める。
英 語	**① 聞く・話すの練習** 教科書・ワークのQRコードを使って、英語の音声を聞いたり、発音の練習をする。 **② 教科書本文を書く** 教科書の本文（基本文だけでもOK）をノートに書いて覚える。 **③ 単語練習** 単語を 発音しながら書く。書けるかどうか自分で小テストをして確認する。 **④ ワークをくり返し解く** ワークブックの問題を何度も解く。１回目はノート、２回目はワークなど、やり方を変えると効果的。 **⑤ 発音の練習（PC活用）** 個人用パソコンで音声入力 → 英語に切り換え、正しく認識されるかで発音をチェックする。